

press release

2014年10月10日

スタンダードチャータード銀行の 回避可能な視覚障害撲滅に向けたチャリティプログラム Seeing is Believing が募金額 7,500 万米ドルの節目を達成

今年の世界視力デーにあたる本日(10月9日)、スタンダードチャータード銀行が2003年から1億米ドルを目標に取り組んできた募金活動が7,500万米ドルに達しました。

スタンダードチャータード銀行(本店:ロンドン、最高経営責任者:ピーター・サンズ/在日支店:千代田区、在日総支配人:クリストファー・ナイト)は、10月第2木曜のワールドサイトデー(世界視力デー)にあたり、当行が回避可能な視覚障害撲滅に向けて2020年までに1億米ドルを目標に、2003年から取り組んでいるチャリティ活動 Seeing is Believing の募金総額が7,500万米ドルの節目に達したことを発表いたします。

Seeing is Believing は、アイケアニーズが高い地域に持続可能な支援を提供するためにスタンダードチャータードが国際失明予防機関(IAPB)と協力して展開している、国際的なチャリティプログラムです。回避可能な視覚障害撲滅に向けた募金ベースの民間チャリティとして最大規模の Seeing is Believing は、これまでにアジア・アフリカ・中東・中南米の5,300万人に支援を提供してきました。

失明がもたらす世界的な経済損失は年間2,000億米ドルに達すると推計されています。世界の失明者は3,900万人、視覚障害者は2億4,600万人に上ります。回避可能な視覚障害の90%は中低所得国で発生しており、その多くの国で事業を展開するスタンダードチャータードにとっては見過ごせない問題です。人々の生活の質の低下を引き起こし、経済成長にも悪影響を及ぼすこの重要な健康問題に、スタンダードチャータードは Seeing is Believing の活動を通して向き合っています。

スタンダードチャータードのグループ法務顧問で、Seeing is Believing 議長を務めるデイビッド・ファインは、次のように述べています。

「行員が中心となって2003年に設立された Seeing is Believing は、今では世界26カ国で96のアイケアプロジェクトを支援する国際的な社会貢献活動に成長しています。スタンダードチャータードは2011年のクリントン・グローバル・イニシアティブ年次会議で、回避可能な視覚障害の撲滅支援のために、2020年までに1億米ドルを募るという目標を掲げました。私たちは現在、当行の行員をはじめ、顧客・パートナーなど各方面の方々による多大な努力のおかげで、その目標に着実に進んでいます。これまでの前進は喜ばしいことですが、回避可能な視覚障害への社会の理解は十分とは言えません。その撲滅には多くの皆様の支持が不可欠です。今年の世界視力デーにあたり、回避可能な視覚障害の撲滅に向けた Seeing is Believing 募金へのご理解とご協力を是非お願いいたします。」

在日支店では本年、Seeing is Believing の日本における活動の一環として、日本ブラインドサッカー協会と年間パートナーシップ契約を締結し、支援の幅を広げています。これまで継続的に支援を行ってきた、ブラインドサッカー国内大会への協賛のみならず、同協会が推進するダイバーシティ教育プログラ

ム「スポ育」の事業支援も行っています。ブラインドサッカーを通じて、視覚障害を持つ人々とのコミュニケーション力や、相手を思いやる想像力などを子どもたちに深めてもらう「スポ育」を支援することにより、日本における視覚障害者を取り巻く社会環境が改善される一助になればと願っています。

スタンダードチャータードでは、皆様からお寄せいただいた募金金額に対し、同額を加算して Seeing is Believing に寄付を行っています。プログラムの詳細および募金につきましては、以下のサイトをご覧ください。

www.seeingisbelieving.org

詳細につきましては、下記の担当者へご連絡ください。

Jeanette McKenna
Head of Seeing is Believing and Health Programmes
Standard Chartered
Tel: +44(0) 207 885 7510
Email: Jeanette.McKeanna@sc.com

本件に関するお問い合わせは下記にて承ります。

スタンダードチャータード銀行
コーポレート・アフェアーズ部
Tel: 03-5511-1245 / Fax: 03-5511-9312
CA.japan@sc.com

スタンダードチャータード

スタンダードチャータードは、世界で最もダイナミックな市場において、約86,000名の行員を擁し、150年以上の歴史を誇る国際金融グループです。アジア・アフリカ・中東地域において、法人・個人のお客様に投資・貿易・資産形成のサービスを提供しています。グループ収益の約9割は、それらの地域で創出されています。私たちのブランドプロミスである「Here for good」は、このようなスタンダードチャータードの伝統と企業価値を反映しています。スタンダードチャータードは、ロンドン証券取引所、香港証券取引所、ボンベイ(ムンバイ)証券取引所、ならびにインド国立証券取引所で上場しています。

日本におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜に初めて駐在員事務所を開設した1880年にさかのぼり、今年で134年目を迎えました。日本の事業法人・金融法人のお客様向けに、多岐にわたる金融サービスを提供し、さらなる成長を続けています。

スタンダードチャータードグループHP(英語) <http://www.sc.com>
スタンダードチャータードグループ facebook(英語) www.facebook.com/standardchartered
スタンダードチャータードグループ Twitter アカウント @StanChart
スタンダードチャータード銀行在日支店HP(日本語) <http://www.sc.com/jp>
スタンダードチャータード銀行在日支店 HP(英語) <http://www.sc.com/jp/en/>

Seeing is Believing (視覚障害プログラム)について

Seeing is Believingは、スタンダードチャータードが国際失明予防機関(IAPB)、その他の主要アイケア機関と協力して実施する回避可能な視覚障害の撲滅に向けたグローバルイニシアティブです。Seeing is Believingは、アイケアニーズが高い地域における長期的な支援プロジェクトの実現に必要な資金を募っています。集まった募金は、世界保健機構(WHO)とIAPBが中心となって取り組んでいる回避可能な視覚障害撲滅のための「VISION 2020: The Right to Sight」プログラムに関連する各種プロジェクトに提供されます。VISION 2020プログラムにとって最大の資金提供元はSeeing is Believingです。Seeing is Believingに集まった募金総額は現在までに7,500万米ドルに上ります。2020年までに目標額の1億米ドルを達成するために、さらに2,500万米ドルの募金を募る計画です。スタンダードチャータードはSeeing is Believingに寄せられる募金と同額を寄付しています。